

かかりつけ医をどう

Q & A

Q 自分で"選んで"いいの?
 かかりつけ医は自分で"選択"できます。日常生活における健康の相談や体調が悪い時などにまず相談する。自分が信頼できると感じた医師であればかかりつけ医と呼んでOK!

Q 選ぶのは一人なの?
 かかりつけ医は一人に決める必要はありません。例えば内科のかかりつけ医の他に眼科にも通院しているという場合には眼科の医師もかかりつけ医と言えます。

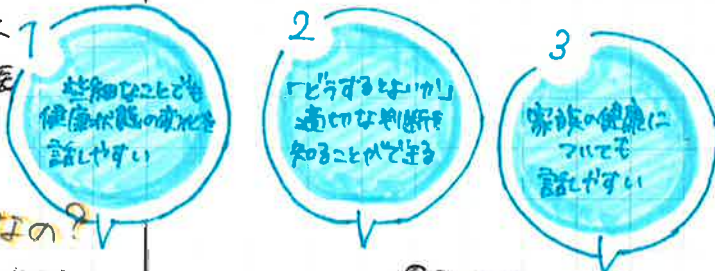
Q 何科の医師を選べばいいの?
 内科医がかかりつけ医と思われがちですが、どの診療科の医師でもかかりつけ医になります。



（参考）厚生労働省より

「かかりつけ医」をもつと安心

かかりつけ医をもつと日頃の健康相談や大病院への受診など判断に困った時に「どうすればよいか」を相談でき安心です。



かかりつけ医とは、健康に関することをなんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師。

かかりつけ医をどう

発行者 起竜中学校 渡邊 愛心

かかりつけ医って何? 知っている?

編集後記

かかりつけ医という言葉事態も知らなかつたけれど、調べてみると、病気の予防や早期発見につながったり、自分で"かかりつけ医"を選べると、自分に合った医師を選べるだけでなく、医療費の削減にもつながることがわかった。少子高齢化の社会を生きていくために、かかりつけ医をもち、みんなが"かかりつけ医"の削減につながるよう。

- 1 日頃の状態をよく知っているかかりつけ医であれば、ちおとした体調の変化にも気づきやすいため、病気の予防や早期発見、早期治療が可能になります。
- 2 かかりつけ医がいれば、病気や症状、治療法などについての確かな診断やアドバイスをしてくれます。
- 3 かかりつけ医は必要に応じて適切な医療機関を紹介してくれます。

医療費の削減につながる!

かかりつけ医をどう